

【考え・基礎知識】

過去の表現の仕方に気付き、夏休みに行った場所や食べた物、楽しんだことと、その感想を伝え合う表現に慣れ親しむ。

【つながり】

学習したことを使って、他者に配慮しながら夏休みの思い出を聞いたり言ったりして、やり取りを継続しようとする。

【応用・ひろがり】

学習したことを活用して、夏休みの思い出だけでなく、他者に配慮しながら、コミュニケーションの目的や場面、状況に応じて伝え合う。

- ◇ 学年 第6学年
- ◇ 単元名 We Can! 2 Unit 5 My Summer Vacation 夏休みの思い出
- ◇ 単元の目標 過去の表現の仕方に気付くとともに、夏休みに行った場所や食べた物などと、その感想を表す表現に慣れ親しむ。また、それらについて例を参考に書くことに慣れ親しむ、夏休みの思い出について積極的に伝え合おうとする。

時	主な学習活動
1	<p>【課題の設定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・姉妹校の小学生から、日本での夏休みの過ごし方を教えてほしいというメッセージを受け、英語で『夏休みの思い出アルバム』を作成し、紹介するという単元のゴールイメージをもつ。
2～6	<p><解決に向けて必要な学習活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ①過去の表現の仕方に気付き、動作や感想を表す表現に慣れ親しむ。[聞く・話す[やり取り]] ②夏休みに行った場所や食べた物、楽しんだことと、その感想をペアで伝え合う。[話す[やり取り]] ペアで伝え合ったことを、例を参考に書き写す。[書く] ③ワークシートに書き写した夏休みの思い出を読む。[読む] ④前時までにワークシートに書き写してきた文を参考に、語順を意識しながら文を書き、『夏休みの思い出アルバム』を作成する。[書く] <p><学習する表現の例></p> <p>行った場所とその感想 I went to the sea. It was fun. < 2・3時 ></p> <p>行った場所と食べた物、その感想 I went to the sea. It ate watermelon. It was delicious. < 4時 (本時) ></p> <p>楽しんだこととその感想 I enjoyed fishing. It was exciting. < 5時 ></p> <p>ゴールイメージ I went to the sea. I enjoyed fishing. It was fun. I ate watermelon. It was delicious. < 6時 ></p>
7・8	<p>【実行、振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作成した『夏休みの思い出アルバム』を姉妹校に送り、感想をビデオレターで受け取る。 ・単元で学習したことを、言語面（表現への慣れ親しむ）と内容面（コミュニケーションへの意欲の高まり）から振り返る。

英語を使う必然性のある目的や場面、状況を設定する。

新しい表現を導入する際は、文構造等を説明するのではなく、その表現に繰り返し触れさせることによって、文構造等への気付きを促すようにする。

書く活動では、音声で十分に慣れ親しませた上で、例を参考に書かせる。また、一度に多くの英文を書かせず、段階的に書く量を増していくよう配慮する。

- ◇ 本時の目標 夏休みに行った場所と食べた物、その感想を表す表現に慣れ親しむ。
- ◇ 学習の流れ(4時間目/全8時間)

学習活動	指導上の留意事項 (◇) (◆「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手立て)	評価規準〔観点〕 (評価方法)
1 課題意識をもつ。 担任とALTのスマールトークを聞き、夏休みに行った場所に加え、食べた物やその感想を表す表現に気付く。	◇教師同士のやり取りだけでなく、児童が内容を理解しているか確認したり、質問を投げかけたりしながらスマールトークを行う。 ◆スマールトークを行う際に、ジェスチャーを交えたり、写真やイラストなどを見せたりし、内容を捉えやすくする。	スマールトークでは、単元で扱う表現や言語活動に関連するものを計画的・継続的に扱う。
2 本時のめあてを確認する。 めあて 夏休みに行った場所と食べた物、その感想を伝え合おう。		やり取りを継続させるポイント(例) ・相手の言ったことに反応する。 ・相手に質問する。 ・既習表現を使う。
3 いろいろな食べ物の言い方を知る。 聞こえた食べ物の名前が描かれている絵を指すポイントニングゲームを行う。	◇食べ物の言い方に慣れ親しませるため、聞かせるだけでなく、聞こえた単語を繰り返し話させるようにする。	・夏休みに行った場所と食べた物、その感想を表す表現に慣れ親しんでいる。[慣]
4 夏休みの思い出を伝え合う。 夏休みに行った場所と食べた物、その感想についてペアで伝え合う。	<p><児童のやり取りの例></p> <p>A : I went to the summer festival. I ate shaved ice. It was exciting. B : That's nice. A : How about you? B : I went to the sea. I ate watermelon. It was delicious. A : That's good. Do you like swimming? B : Yes, I do.</p> <p style="text-align: right;">3往復のやり取り</p>	(行動観察・振り返りカード分析)
5 ペアで伝え合ったことを書き写す。 自分が行った場所や食べた物などをワードリストから選び、書き写す。	◇児童がよく使う語句をイラスト付きのワードリストとして示し、書き写す際の見本とする。 ◆文字の高さや形を正確に捉えているか見取り、必要に応じて文字をなぞらせるなど、支援を行う。	英語を書く際は、4線上に、単語と単語の間に適切な間を空けながら書くよう指導する。
6 本時のまとめを行う。 児童のまとめ例 ・夏休みに行った場所や食べた物、その感想について自信をもって話すことができた。 ・“How about you?”や“Do you like ~?”を使って、友達との会話を増やすことができた。		
7 本時を振り返り、次時につなげる。 本時の振り返りを、振り返りカードに記入する。「夏休みに楽しんだこと」を含むALTの夏休みの思い出を聞く。	◇ALTが夏休みにしたことを紹介し、次時で学習する表現の見通しをもたせる。	